

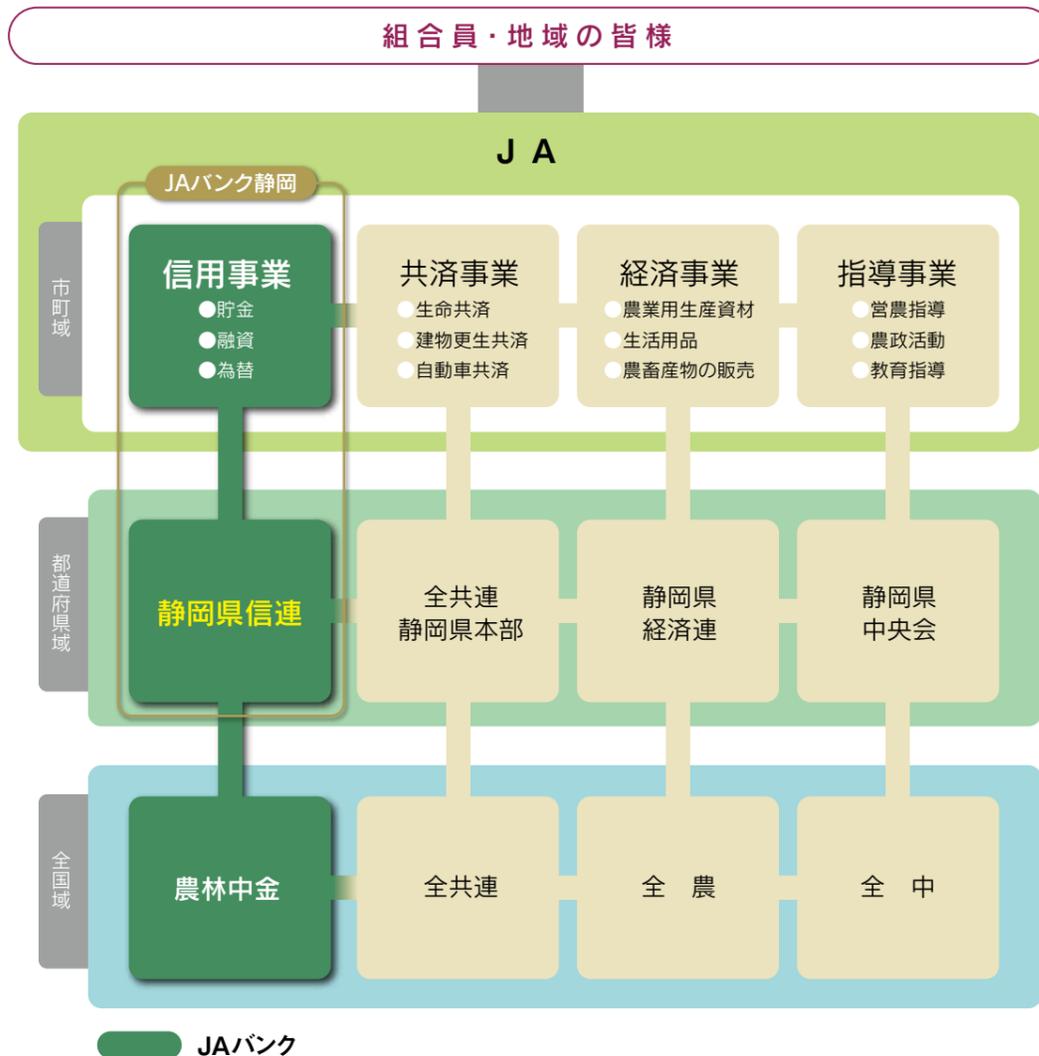
JAバンク静岡とは

JAグループの枠組み

「JA」は農業協同組合の愛称で、信用事業、共済事業、経済事業、指導事業等様々な事業を行っています。このうち信用事業は総称して「JAバンク」と呼ばれており、各地域のJAと各都道府県において信用事業の本部機能を担う信用農業協同組合連合会（信連）、全国域の本部機能を担う農林中金とで「JAバンク」グループを形成しています。

当会は、信用事業を行う都道府県段階の連合会組織として静岡県下JAの事業運営をサポートするとともに、県域を営業エリアとする地域金融機関として皆様のお役に立つ金融サービスを提供しています。当会はJAグループの一員として、県下JAと一体となってJAの組合員及び地域の皆様から信頼される事業運営に努め、地域の農業及び経済の発展に貢献してまいります。

JAグループ組織図



JAバンクシステム

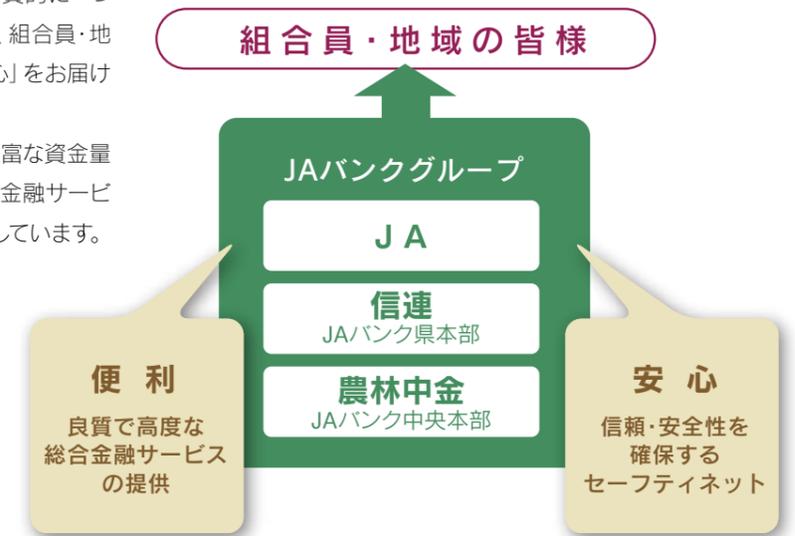
JAバンクシステム

便利と安心の「JAバンクシステム」です。

「JAバンクシステム」とは、静岡県下JA・当会をはじめ全国のJA・信連・農林中金が実質的に一つの金融機関（JAバンク）として機能し、組合員・地域の皆様に、より一層の「便利」と「安心」をお届けするためのシステムです。

JAバンク（JA・信連・農林中金）は豊富な資金量とワイドなネットワークを活かして総合金融サービスを提供し、組合員・地域の皆様に貢献しています。

● JAバンクシステムの仕組み



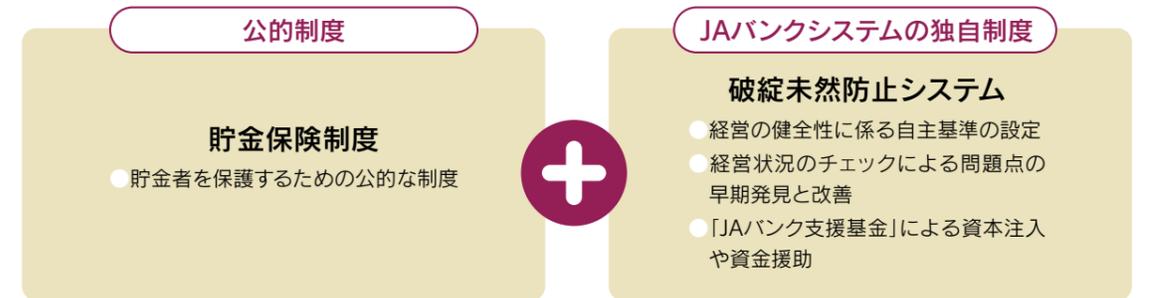
JAバンク・セーフティネット

“安心”だから「JAバンク」が選ばれます。

より安全な金融機関としての信頼を得るために、JAバンクは「JAバンク・セーフティネット」を構築しています。第一は公的制度である「貯金保険制度」。そして第二は「JAバンクシステム」のもと、JAバンク全体で経営の健全性を確保する取組みである「破綻未然防止システム」。

この2つの仕組みから成り立つ「JAバンク・セーフティネット」で、組合員・地域の皆様に、より一層の“安心”をお届けします。

● JAバンク・セーフティネットの仕組み



○平成24年3月末財源 3,173億円

○平成24年3月末財源 ・JAバンク支援基金 1,702億円 ※1
・県相互援助積立金(全国計) 1,097億円 ※2
(うち、静岡県 53億円)

※ 1. JAバンク支援基金 ……全国のJAバンク会員等が拠出した負担金により運営されている基金です。
2. 県相互援助積立金 ……県域が個別に定めた基準により拠出した財源(積立金)です。